

月刊 保育とカリキュラム

6

June
2011

トリプル特集

2

鈴木翼の

ファンタジックにマンネリ脱却!

水あそび

ギュッと
よくばり
HAPPY★PRICE

定価 **590**円

トリプル特集

1

伝統+アレンジで七夕飾り



トリプル特集

3

おたよりに使える

夏の健康とプール

連載

保育・教育の基本を学びましょう!

子どもの理解について

ひかりのくに
5大講習会ご案内!

執筆／平野真紀(常磐会短期大学教授) 実践協力／大阪・住の江幼稚園

にじ色の雨が降ってきたよ

パスやクレヨンを楽しもう

まき先生の

空からにじ色の雨が降ってきたら…そんな想像をしながら描くのが楽しみです。雨のような生活の中のでき事をきっかけに、自分なりの表現を加えながら描くことで、描くことの楽しさを感じることができるようになります。

活動のねらい
★思いを膨らませて描くことを楽しむ。
★いろいろな素材を使って描くことを楽しむ。



パスやクレヨンで描もう！

1 にじ色の雨を描く



あめのはんぶんだけちがういろでぬってみただよ

2 雨をきっかけに話が広がれば、描き加えていく



あおきいあまつぶから、ちっちゃいあめがふるの

にじからあめがふってきたんだよ



このみずたまりにあめがふってくるよ



いろいろなかたちのあまつぶだよ

！力を込めて描く
パスやクレヨンは力を込めて描くほうが美しい色が出ます。その子なりに力を込めて描けるような言葉を意識してかけましょう。描いたときにはそれを認めて共感する言葉も忘れずに。

パスやクレヨンを使った作品



あうちから、あめがふるところをみるの



あめのいろがかさのいろになったんだ！

みんなといっしょに、かさにはいっているよ



いろいろなあめがふってきて、みずたまりもきれいないろになっちゃった



ようふくにもぬってみよーっ！

絵の具を使ってみよう！

はじき絵を楽しみながら雨に色を塗ったり、好きなところに色を塗ったりします。



ぜーんぶにじいろになっちゃった！

あかいにじからあかいいめ、あかいにじからあかいいめ…つてふるんだよ

絵の具を使った作品



えのくでもっといっぱいふらせよう！



用意するもの

- 画用紙(ハツ切または四ツ切) 白や水、桃、黄などの薄めの色
- パスまたはクレヨン
- 絵の具(薄めに溶いたもの)
- 筆
- ぬれぞうきん

導入・ことばかけ例

- 「雨が降ってくるころ、見たことあるよね？ その雨粒を手に載せてみたことある？」
- 「さわったことある！ つめたいよ」
- 「そうだね、冷たいね。じゃあ、雨粒の色は見たことある？」
- 「いろはないよ」「どうだい！」
- 「そうだよ。雨が降ったらにじがかかることがあるけど、それがそのまま雨になって降ってきたらどんな色になるのかな？」
- 「いろいろないろのあめがふってくるんじゃない？」
- 「そうだったら楽しいね。どんな雨が降ってくるか、先生が描いてみようかな。パスを使って描いてみるよ」
- 「少し、弱めの細い線で描いてみるよ」
- 「あれ、これじゃあんまり見えないな」
- 「もつとちからをいれてかかないとだめだよ」
- 「そうだね。ゆっくりと線を描くと力が入るね。色も力を入れて塗ってみようね」

「じだから、いろいろないろでかきたいな！」

「ひとつの色だけじゃなくて、にじみたいに、いろいろないろが入った雨粒でもおもしろそうだね」
「塗った上から違う色を重ねてみてもきれいだよ」
「でも、いっぱい色を重ねるときれいな色にならないかもしれないから、どの色をのせたらいいか考えようね」
「じゃあ、どんな色の雨にするかを考えて、描いてみよう」



活動のポイント

画用紙のサイズ

★今回は、いっぱい描いた満足感を早め感じられるようにハツ切を使っていきます。年齢や経験によって大きさを考慮するとよいでしょう。

にじ色の雨をイメージしやすいように

★保育者が「にじの色は7色で、赤と橙と黄…」と概念にこだわると子どもならではの表現が出てこなくなります。子どもたちがイメージしやすいように、どの色を使ったら自分のにじ色になるのかを考えさせるような問いかけを考えてみましょう。

絵の具を出す(使い始める)タイミング

★パスやクレヨンで表現することに満足したかを見つつ、子どもたちの活動に合わせながら考えましょう。ただし、必ず絵の具を使わないといけないということもありません。子どもたちの思いに応じて使うということも心がけましょう。

◀パスやクレヨンの上に絵の具で描いてみて、はじく濃さに調整しましょう。